

福賀小学校をよりよくするためのアンケート【教職員用】集計結果

令和4年7月実施

No.	評価内容	そう 思う	少し そう 思う	あまり 思わ ない	思わ ない	わか ら ない	評価					評価	わか ら ない	
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E		E	
1	何事にも積極的に関わろうとする心を育てる教育に取り組んでいる。 (重点取組事項)	4	4	0	0	0						3.5	0	
2	自分から進んで表現する力を育てる教育に取り組んでいる。 (重点取組事項)	5	3	0	0	0						3.6	0	
3	積極性と表現力を育むという今年度の重点取組事項を、家庭や地域と連 携して取り組んでいる。(重点取組事項)	5	3	0	0	0						3.6	0	
4	「きづく」「きめる」「かかわる」「やりぬく」の心や力の育成を意識し授業を 行っている。	2	5	0	0	1						3.3	1	
5	わかりやすい授業を行っている。	1	4	2	0	1						2.9	1	
6	一人ひとりの学力向上に向けて取り組んでいる。	3	5	0	0	0						3.4	0	
7	家庭学習の進め方を具体的に示し、家庭と連携しながら家庭学習を 進めている。	0	5	1	0	2						2.8	2	
8	地域の人やもの・ことにかかわる学習「ふるさと学習」に取り組んでいる。	4	3	1	0	0						3.4	0	
9	思いやりの心や規範意識を育てる教育に取り組んでいる。	3	5	0	0	0						3.4	0	
10	いじめのない学校づくり及びいじめの解消に向けて組織的な対応を 行っている	4	4	0	0	0						3.5	0	
11	児童の健康や体力の増進に向けて取り組んでいる。	2	5	1	0	0						3.1	0	
12	校舎内外きれいに掃除され、気持ちのよい環境を整えている。	1	7	0	0	0						3.1	0	
13	施設・設備の安全対策に取り組んでいる。	2	6	0	0	0						3.3	0	
14	子どもや保護者が相談した時に、丁寧に相談にのっている。	3	5	0	0	0						3.4	0	
15	学級での子どもたちの取組の様子を丁寧に伝えている。(学年通信等)	5	3	0	0	0						3.6	0	
16	学校は、教育方針や学校の様子を丁寧に伝えている(学校・ホームページ等)	5	3	0	0	0						3.6	0	
17	学校は、ふるさとに愛される学校として、積極的に学校を地域に開いている。	5	3	0	0	0						3.6	0	
18	学校は、行事等の見直しに取り組んでいる。	3	5	0	0	0						3.4	0	
19	子どもたちの間に、いじめは起きていない。	4	3	0	0	1						3.6	1	
20	子どもたちは、丁寧な言葉づかいができています。	5	3	0	0	0						3.6	0	
21	子どもたちは、授業中、正しい姿勢で学習している。	0	6	2	0	0						2.8	0	
22	子どもたちは、授業でわからない時は、先生や友達に聞いている。	1	5	0	0	2						3.2	2	
23	子どもたちは、宿題を忘れず提出し、家庭学習の習慣が身についている。	2	2	3	0	1						2.9	1	
24	子どもたちは、学校のいろいろな場面で、「自分で考え、自分で行動」しようという姿を 見せている。(チャレンジ目標)	1	6	1	0	0						3.0	0	
25	子どもたちは、先生やお客さん、友だちに進んであいさつができています。 (チャレンジ目標)	0	8	0	0	0						3.0	0	
26	子どもたちは、無言で最後まで一生懸命、掃除に進んで取り組んでいる。 (チャレンジ目標)	5	3	0	0	0						3.6	0	
27	子どもたちは、読書に進んで取り組んでいる。(チャレンジ目標)	2	3	3	0	0						2.9	0	
28	子どもたちは、楽しく学校に通っている。	5	2	0	0	1						3.7	1	
29	各種会議の長さや回数は適切である。	3	5	0	0	0						3.4	0	
30	相談しあえ、認めあえる人間関係が職員間にできている。	3	5	0	0	0						3.4	0	
31	健全な勤務態勢・風通しのよい職場である。	1	7	0	0	0						3.1	0	
		計	89	136	14	0	9						3.3	
		割合	35.9%	54.8%	5.6%	0.0%	3.6%							

【気付き等】

○授業では全員が手を挙げて発言する機会を設けている。○今年度は全体の場で感想を伝え合う場面では、全員が発表しているのでとてもよいと思う。○いろいろな行事の度に感想発表することで、思いを話す訓練になっている。○「全校○○」の取組は、低学年が高学年を見て学び、高学年はよい手本を見せる機会となり、小規模校だからこそできることとありとても良いと思う。●今後、表現することが、話すことだけでなく書くことにも広げていくと良い。●大人が手を出しすぎる。積極性と表現力謳うなら、もっと子ども達に任せてもよいのではないか。

例：児童会議…子ども達だけで話し合わせ、その結果を報告に来させる。/集会…子ども達だけで行い、目的達成度や感想などを報告に来させる。●町からの配付物やチラシ等、余分があるときは教員にも配って欲しい。●学校管理面、特に職員室が手薄になることが多いと思う。●月行事・週行事の仕組みが変わってから、人の変更や行事の追加に気付きにくくなり、自分の変更を反映できない。●全教職員で共通理解してから進めなければならないことを、担当だけで進めたり事後報告になったりしてしまうことが多く申し訳ない。●職員室も仕事場なので室温を見て積極的にエアコンをつけるべきだと思う。

